

## 寅さん歩 その 18

### 東京の学食めぐり-17



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者からの要望で始めた「東京都にある大学の学食めぐり」です。最近是一般の人も食べられる学食が増えています。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないよう注意したいです。

東京都内に商船大学や水産大学があったと記憶していました。調べてみると、平成 15 年（2003 年）10 月 1 日に統合し、**国立大学法人 東京海洋大学**になっていました。早速、二つのキャンパスの学食を訪問しました。最寄り駅は代表例です。

#### 〔東京海洋大学〕

大学公式サイトには『**東京商船大学は明治 8 年（1875 年）私立三菱商船学校として東京に設立、明治 15 年（1882 年）官立の東京商船学校と改称、昭和 20 年（1945 年）東京、神戸、清水の三高等商船学校が統合し、高等商船学校を設立、昭和 24 年（1949 年）商船大学に改称、昭和 32 年（1957 年）東京商船大学に改称された。**

**東京水産大学は明治 21 年（1888 年）大日本水産会水産伝習所が東京に設立、明治 30 年（1897 年）農商省水産講習所、昭和 22 年（1947 年）農林省第一水産講習所（第二は下関）と改称、昭和 24 年（1947 年）東京水産大学となり、翌年に文部省所管となった。**

現在は東京海洋大学として海洋生命科学部、海洋工学部、海洋資源環境学部があり、大学の理念は「人類社会の持続的発展に資するため、海洋を巡る学問及び科学技術に係わる基礎的・応用的教育研究を行う」、大学の目標は「国内唯一の海洋系大学として、海を知り、守り、利用する」ための教育研究の中心拠点となって、その使命を

果たすため、海洋に関する能力・素養を有する人材を養成する』と記載。両キャンパスには、かつて使われた練習船が係留されており、構内には史跡や資料館が残されています。

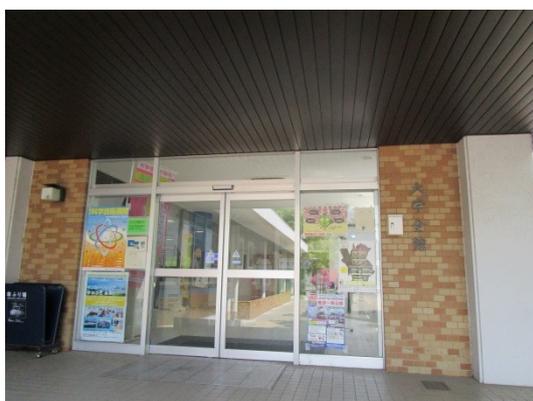
また、東京高等商船学校は明治・大正・昭和を通じて難関校として有名で海軍兵学校・陸軍士官学校と並び称され、全国から秀才が集まったとのこと。

**【品川キャンパス】** 港区港南 4-5-7  
最寄駅 JR線 品川駅港南口(東口)

港南口(東口)から下に下りて、港南二丁目の交差点を直進、京浜運河にかかる「みたて橋」を渡ると、右手に正門があります。ここは埋立地に開設された旧海軍経理学校品川校跡地で「水産伝習所」、「水産講習所」そして前身校の東京水産大学が昭和29年(1954年)に現在地に移転して現在に至り、大学本部はこちらとのこと。



構内は緑が多く、写真上右の左側の建物が大学会館(学食)です。写真下左は大学会館の入口、右は学食メニュー棚です。



元是水産大学なので、EPA、DHA 豊富と表示のサバ塩焼き、春の惣菜

トリオ(ひじき・たけのこ・青野菜)、小女子(こうなご)の南蛮漬  
け、豆腐とわかめの味噌汁、ライス(中)を選び、レジで精算すると  
505円でした。



隣の大学生協では久しぶりに食べる大学グッズを見つけました。  
写真上右は練習艦カレー540円、写真下左はミルクキャラメル480円、  
写真下右は東京海洋大学クッキー1130円です。



構内の一番奥に農商務省水産講習所の第二代練習船「雲鷹丸」が係留されています。  
明治42年(1909年)に建造され、昭和4年(1929年)までの20年間実習船・調査  
船として就航、船上のカニ缶詰製造では蟹工船の先駆けとなったとのこと。  
平成10年(1998年)登録有形文化財に指定、内部には入れませんでした。



帰りには大学会館手前にある平成 28 年(2016 年)にリニューアルされた「マリンサイエンス ミュージアム」と別館の「鯨ギャラリー」に立ち寄りください。他では見られない標本類を見ることが出来ます。日本政府による科学調査目的で採集・捕獲されたものです。



〔越中島キャンパス〕 江東区越中島 2-1-6

最寄駅 JR京葉線 越中島駅

大江戸線 月島駅から歩きました。出口2から相生橋を渡ると、係留の「明治丸」が見えました。正門(写真下左)から入ると、正面は1号館(写真下右)〈関東大震災で焼失した木造校舎跡地に昭和7年(1932年)完成、屋上東側には船橋を模した建造物があり、各種航海機器が配置〉平成9年(1997年)登録有形文化財に指定。



正門右側には昭和 40 年（1965 年）85 周年を記念して建立された商船教育発祥の「アンカーの塔」、その右に「百周年記念資料館」、「明治丸記念館」、左奥には「明治丸」が係留されています。



アンカーは係留練習船としてポンド内に定置する際に用いられ、主幹は北極を指し、ストックは天の赤道を指しているとのこと。明治丸は明治政府が英国に発注し、建造された豪華な燈台巡廻船で明治 8 年（1875 年）横浜港に到着、当時は 2 本マストの帆装鉄造汽船でロイヤルシップの役目も兼ねたとのこと。明治 9 年（1876 年）には明治天皇が東北・北海道巡幸の帰路、青森から函館経由で乗船され、横浜港帰着の 7 月 20 日は昭和 16 年（1941 年）海の記念日に制定されています。その後、約 20 年は燈台巡廻船として活躍、明治 30 年（1892 年）商船学校の係留練習船として移管され、3 本マストに改造、明治 34 年（1901 年）この地に定係されました。商船学校の神聖な教場として約 5 千余の海の若人が巣立っています。また、関東大震災や東京大空襲では被災者を収容、終戦で進駐軍に接收、昭和 26 年（1951 年）浸水によりポンド内に沈没、接收解除で引き揚げられ 85 周年事業・百周年事業の一環で復元されました。昭和 53 年（1978 年）船として初めて国の重要文化財に指定。写真は甲板とサロンです。



学食は越中島会館につながる、構内奥のグラウンド手前の別棟にありました。「マリソ カフェ」(写真下左)と洒落た名前でした。営業時間は平日 11 時~14 時。写真下左は入口、右は「いろいろ定食」360 円、豚汁と揚げ出し豆腐以外の小鉢 2 ケは選択制。



明治丸の見学は火曜日・木曜日なので友人と出直し、学食も 2 回行きました。写真下左は日替わり定食(あじと海老フライ、ライスM) 413 円、写真右は友人の日替わり定食(肉フライ、豚汁、小鉢、ライスはS) 540 円。



写真左は友人の牛カルビ定食(豚汁付き) 518 円

定食メニューにおかずの追加、ライスや汁の変更が出来ます。

お帰りには正門周辺にある史跡を見てください。

写真下左は旧天体観測所(第一観測台、赤道儀室と呼ばれ、東洋一の天体望遠鏡を備え)、写真下右は旧天体観測所(第二観測台、子午儀室と呼ばれ、子午線観測用の望遠鏡を備え)です。

共に明治36年（1903年）6月建設、教育研究に使用、建物は平成9年（1997年）登録有形文化財に指定。



なお、JR越中島駅出口のある越中島通りを挟んだ反対側も大学用地で学生寄宿舍や職員宿舎など厚生施設がありました。

今回は *東京の学食めぐり-18* です。

平野 寅次郎 拝